

発行所

株式会社FPシミュレーション 大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678  
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

## ◇ 平成12年分路線価・8年連続で下落

**Q** : 平成12年分の路線価が公表されたようですが、今年の傾向を教えてください。

**A** : 8年連続での下落となりましたが、東京や名古屋中心部ではオフィスビル需要の回復などもあり、路線価の下落幅自体は前年分より縮小する結果となっています。

### 【解説】

平成12年分の路線価が、8月4日に公表されました。それによると、標準宅地の評価基準額の全国平均額は、146千円で前年の157千円に比べ7%の下落となっています。

都道府県別の評価基準額を見ると、島根県が前年比±0だったのを除き、全国で前年を下回っています。下落率が最も大きかったのは、千葉県の11.9%で、次いで大阪府10.9%、長崎県10.7%と続いています。一方、下落率が1%台に落ち着いたのは、徳島県1.1%、鹿児島県1.7%、秋田県1.8%の3県でした。ただ、下落率が前年に比べて縮小した都道府県は、前年の3から20に増え、下げ止まりの兆候もうかがえます。都道府県別で評価基準額が最も高かったのは東京都の506千円、最も低かったのは山形県の45千円でした。

また、都道府県庁所在都市の最高路線価も発表され、最も高かったのは東京銀座の鳩居堂前で昨年と同額の11,680千円です。なお、今年から最高路線価の表記方法が一部修正され、ビル名などを削除し路線価の基準となる通り(道路)の名称で表示することになっていますので、路線価所在地の名称に「鳩居堂前」の文字はありません。



KIMIYO-I